

憲兵總第292號

憲兵司令官隷下部隊復員等ニ関スル規定ノ件ヲ達ス

隷下諸部隊

憲兵司令官隷下部隊復員等ニ関スル規定別紙ノ通定ム

昭和二十年九月七日

憲兵司令官

飯村

穰

0925

憲兵司令官隷下部隊復員等ニ関スル規定

第一條 本規定ハ昭和二十年軍令陸甲第百十六號帝國陸軍復員要領(以下要領ト略稱ス)同年陸機密第百三十九號帝國陸軍部隊復員要領細則(以下細則ト略稱ス)ニ基キ憲兵司令官隷下部隊復員、復返、閉鎖、召集解除、除隊、轉役等ニ関シ必要ナル事項ヲ定ム

本規定中特ニ示サレタル事項ニ関シテハ陸軍動員計畫令、同細則、戰時憲兵隊増(動)員計畫書及要領、細則ニ關連スル諸規定其ノ他關係諸條規並ニ爾後特ニ示達スル所ニ據ルモノトス

第二條 憲兵隊司令官ハ本規定ニ依據シ復員等ニ関スル規定ヲ調製シ業務ノ整齊圓滑ナル遂行ヲ期スルモノトス

第三條 諸部隊ハ終戰ニ際シ賜ハリタル 詔書、勅語、勅諭ヲ遵奉シ承認必謹唯々大御心ニ歸一シ奉ルヲ旨トシ皇軍ノ

眞姿ヲ顯現シ整齊迅速ニ復員業務ヲ實施スルト共ニ當面ノ任務遂行ニ遺憾ナキヲ期スルモノトス

第四條 各級指揮官ハ統率ノ本義ニ徹シ一致和諧部下將兵ヲシテ陛下ノ股肱タル光榮ト本分トヲ銘肝シ平和國家建設ノ礎タル如ク精神教育ヲ徹底スルモノトス

第五條 復員ニ際シテ眞ニ止ムヲ得サル場合ノ外適宜ノ方法ヲ以テ復員式ヲ行フモノトス

第六條 憲兵司令官隷下部隊ノ復員管理官ハ憲兵司令官トシ朝鮮(台灣) 憲兵隊司令官ハ復員管理官ノ業務ヲ憲兵司令官ニ代行行フコトヲ得其他ノ憲兵隊司令官ニ於モ復員管理官ノ業務ヲ代行セシムラルコトアリ

隷下各部隊ノ復員擔任區分左ノ如シ

復員部隊	復員擔任官
一 憲兵司令部	憲兵司令部、但シ復員業務全般ノ處理ハ本部長統轄ノ下ニ高級副官之ニ任スルモノトス
二 憲兵隊司令部	憲兵隊司令部、但シ佐官以上ノ將校ヲ以テ復員業務全般ノ處理ニ任セシムルヲ得
三 地區憲兵隊	地區憲兵隊長
四 臨時憲兵隊	臨時憲兵隊長、但シ憲兵隊司令部ニ於テ地區憲兵隊長ヲシテ擔任官タラシムルヲ得
五 臨時獨立憲兵中隊	憲兵隊司令部、定メ部隊長
六 特設憲兵隊本部、分隊	當該部隊所在地ヲ管轄スル憲兵隊司令部、定メ部隊長
七 外事特別班其他特殊部隊	前號ニ準テス

第七條 復員部隊、召集解除、除隊、轉役日時復員完結日ハ特ニ

示達セラルルモノヲ除キ憲兵隊司令官之ヲ定ム。但シ本條適用ハ命令ヲ以テ發起シテ命セラルルモノトス。

第八條 前條復員部隊（召集解除、除隊、轉役等ヲ含ム以下同シ）、復員順序及復員實施ノ時期ハ憲兵部隊ノ狀況任務ヲ勘察シ社會的不安ヲ惹起ノ防止、輸送能力、民力ノ養成等ヲ考慮スル外復員後ノ残務整理ヲ考慮シ遺憾ナキヲ期スルモノトス。

前項ノ外復員輸送ニ関シテハ諸規定ヲ遵守シ關係機關ニ密接ニ連絡スルモノトス。

第九條 各部隊ノ復員地ハ復員部隊復員時ノ現駐地ヲ本則トスルモ止ムヲ得サル場合ハ憲兵隊司令官ノ定ル所ニ從ヒ復員地ヲ変更スルコトヲ得。

第十條 部隊復員下令前ト雖モ本規定受領後成ルヘリ速ニ任務ノ遂行ニ支障ヲ未ササルコトヲ旨トシ計畫上ノ復員準備ヲ迅速ニ完了ス。

スルモノトス

第十二條 復員部隊ニ屬ス 御眞影、勅諭、勅語、御紋章等ノ

處理ニ関シテハ細則第ニ條ニ據ルノ外 既達ノ定メニ依ルモノトス

(九月五日憲政庶務第ニ九二號、憲電第ニ九六號、陸機密第ニ三六

五號参照)

九月八日以後ニ於テ未處理ノモノハ本規定受領後速ニ處理

ヲ完了シテ報告スルモノトス

附則

第十二條 復員召集解除、除隊ニ際シテハ現役者(將校ハ除ク)ハ復員

擔任部隊長ニ於テ豫備役ニ編入シ陸軍文官(同待遇者)ニ在リテ

ハ辭令ヲ用フルコトナリ退官(退職)セシムルモノトス

第十三條 現役將校(特別志願將校ヲ含マス)ニ在リテハ前條ニ拘

ラス別ニ示ス時期迄復員部隊ノ隷屬上ノ上級部隊(直上部

隊)復員スルトキハ當該直上部隊ノ上級部隊 順次之ニ依リ

ノ定員外トシテ充置スルモノトス

由

前項ノ命課處理ハ憲兵隊司令官ニ行ヒ速ニ憲兵司
令官ニ報告スルモノトス憲兵隊司令官ノ隷下外部隊ニシテ
憲兵隊司令官隷下部隊ニ於テ復員ヲ擔任スヘキ部隊ニ
在ル者亦同シ

0931

第十四條 軍醫(憲兵補ヲ含ム以下同シ) 産傭人ニ本規定

第ニ受領後憲兵隊司令官、地區憲兵隊長、同分隊長

完結ノニ於テ適宜ノ時期ニ解免退職セシムルコトヲ得 ↓ 通知

第十五條 復員後残務整理ノ為憲兵隊司令官ノ定ム

ル所ニ依リ概ネ左ノ記標準ニ基キ残務整理人員ヲ殘

置スルモノトス

一 東部、朝鮮、台灣各隊司令部ヲ除ク各憲兵

隊司令部

● 副官 若クハ之ニ代ルヘキ將校

● 警務關係將校 一名

● 主計將校(止ムヲ得ルニ准士官又ハ主任主計

下士官) 一名

● 總務、警務(持協、防謀、外事ヲ含ム以下同シ)

經理關係准士官下士官ヲ通シ 五名

0932

運送

●因賞兵籍業務下士官一名
地區隊本部

品件

一等二台
二等一台

概不前送ニ準シ將校一名 准士官下士官四名
(内一名ハ經理部關係)

將校若クハ准士官(將校准士官ニシテ業務ヲ執
ル能ハル場合ハ是任下士官)一名
別ニ准士官下士官二名

四 憲兵分遣隊

地區憲兵隊長ニ於テ持ニ必要ヲ認メタル場合
下士官一名

憲兵隊司令官ニ於テ憲兵分遣隊ヲ廢止シタ
ル場合廢止前ノ所屬分隊長ニ於テ適宜定
ムルニ付

0933

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中將 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中尉 陸軍少尉 陸軍中士 陸軍少士 陸軍中兵 陸軍少兵 陸軍中卒 陸軍少卒 陸軍中伍 陸軍少伍 陸軍中士 陸軍少士 陸軍中兵 陸軍少兵 陸軍中卒 陸軍少卒 陸軍中伍 陸軍少伍

憲兵隊司令官部下外部隊ノ復員ヲ擔任セル部
隊ノ残置人員ハ憲兵隊司令官ニ於テ適宜定ムル
ノトス

六、朝鮮、台湾、東部憲兵隊司令部ノ残務整理ノ
為残置人員ハ各々當該憲兵隊司令官ノ定ムル所ニ
據ル

第十六條 前條ノ外別ニ命セラルル時期迄軍事警察執行

ノ為憲兵隊司令官ハ所要ノ人員ヲ残置スルモノトス

當該人員ハ左ノ標準ニ依リ憲兵隊司令官ニ於テ之ヲ定

メ本達受領後速報スルモノトス又必要ニ依リ標準ニ拘ラ

ズ憲兵隊司令官ハ當該人員ヲ増加スルコトヲ得

一、第一要度地區隊

將校一、准士官二、下士官 兵員一七

第二要度地區隊

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中將 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中尉 陸軍少尉 陸軍中士 陸軍少士 陸軍中兵 陸軍少兵 陸軍中卒 陸軍少卒 陸軍中伍 陸軍少伍

將校一、准士官以下九

三、大支都中管轄内

將校ニ准士官三、下士官兵三五

第十七條 前二條ノ人員ノ所屬ハ第十三條第一項ノ規定ヲ

準用ス

第十八條 復員並ニ武裝解除後ノ將校以下ノ服裝ハ制服

私服ヲ歸ス

トシ必要ニ依リ私服ヲ着用スルコトヲ得

刀(劍) 拳銃等ニ依リ武裝ハ勿論兵器又ハ之ニ準ス

ル物件ハ携帶(所持)セザルニトス

第十九條 復員、除隊ハ召集解除ノ際ハ兵籍ヲ整理

ノ上并官職隊區司令部ニ速ニ送致シ留守名簿

ニ準シ私文ニ英文ヲ附記シ(反名ハ羅馬字ヲ以テス)夕

ル職名簿(在籍人ヲ含む)大部ヲ調製シ部隊

設置人員之ヲ保管シ別ニ一部遺兵司令部ニ提

0935

出スルモノトス

第二十條 兵器、牽導ト現品ヲ照合シ現品ヲ整理シ引継

ノ確實ヲ期シ部隊毎ニ集積シ又ハ行ニ集積地ヲ指

定或ハ聯合國ノ要求スル地点ニ集積シ和文ニ英文ヲ

附記セル引継書類五部ヲ調製シ別ニ二部ヲ陸軍兵司

令部ニ提出スルモノトス

牽導ヲ焼失シタル部隊ハ部隊長ノ責任ニ於テ引継

書類以外和文ニ英文ヲ附記セル現品目録員名表

部ヲ調製シ四道ヲ送ルモノトス

會
員
名
單
部

原品ニ原簿

0936

第二十一條 前條兵器、保管官、及務整理人員、先任者、

責任トシ聯合國ノ引渡要求アル場合ハ保管官轉換スル

モノトス

前項ノ外各部隊復員時軍管區司令官部下部

隊最寄ニ存在スル場合ハ該部隊ト協議ノ上移管

スルモノトス

第二十二條 復員ニカケル金錢、被服、糧食、日用品等ノ

個人給與ハ昭和二十年八月迄經第ノ七〇八號ニ據ル

モノトス

第二十三條 軍需品(獸醫資材ヲ含ム以下同シ)ハ拂下保管

轉換ヲ要員後セサルモノトシ復員ニ伴ヒ個人給與セシ

以外ノモノハ其ノ品目員數ヲ明確ニシ部隊所在地

(或ルハ部隊司令部又ハ地區隊本部)毎ニ集積シ

置リモノトシ特ニ良好ナル狀態ヲ保持スルコトニ努メ

被用

散逸隱匿破壊ヲ四散ニ戒ムルモノトス

前項ニ依リ軍需品ヲ集積シタルトキハ残務整理人

員ヲ以テ監督備スルモノトス但シ軍需品ノ處理ニ関

シ憲兵隊司令官ハ所在ノ軍管區司令官ノ區處

ヲ要スルモノトス

第二十四條 前條ニ據ル外並普通圖書(文庫圖書ヲ含ム)

ハ最寄寄學校又ハ圖書館ヘ寄贈スルモノトス

第二十五條 土地建造物ハ所管軍管區司令部ニ授受證

書ヲ以テ返還スルモノトス

現ニ借上中ノ建物ノ借上料ニシテ各部隊ニ於テ支

拂フヲ便トスルモノハ當該軍管區司令部ニ連絡シ

各部隊前途資金ヲ以テ支拂フコトヲ得

第二十六條 共有品ハ地方機關ニ拂下又ハ無償交付スルモノ

トシ共有金便用殘額ハ臨時軍事費歳入ニ納付ス

0938

ルモノトス

第二十七條 共有組合財産ノ處理ニ関シテハ別ニ示ス

第二十八條 復員ニ方リ前途資金ニ不足ヲ生ズル向ハ速カニ償

戻司令部ニ請求スルモノトス 但シ通信関係等ニ依リ右

手續不可能ノ場合ハ最速可限官區司令部等ヨリ移

算トスルモノトス

0939

第二十九條 復員完了後不要トナリタル前渡金残額ハ憲兵司令部ニ返納スルモノトス但シ前條但書等ノ場合ハ最寄軍管區司令部ニ移算拂スルコトヲ得

第三十條 債權確定未拂額ハ速ニ支拂ヲ了シ累ヲ將來ニ及ホササル様整理スルモノトス

第三十一條 決算ハ速ニ完了シ同書類ハ順序ヲ經テ憲兵司令部ニ提出スルモノトス

第三十二條 經理關係處理ニ方リテハ努メテ嚴正公平ヲ旨トシ關係書類中主ナルモノハ和文ニ英文ヲ附記シタルモノヲ五部調製シ置ク外直上部隊ヨリ示達セラレタル目錄ヲ調製シ置クモノトス

第三十三條 残務整理人員ハ申継ヲ受ケタル金錢物品ノ出納證據憑書等責任上必要ナル簿表ハ從前通り記帳ヲ繼續シ残務整理完了時引継ヲ爲ス知ク準備シ責任者

自身ノ獨斷ニ依ル處分ヲ許サス又當該帳簿ノ最終頁
ニハ各部隊長ノ検査ヲ遂ケ正當ナル旨ノ証明ヲ爲シ置ク
モノトス但シ所管經理部長、検査判決ヲ要スルモノトス
第三十四條 馬匹、軍鳩ハ地方廳ヲ通シ民間ニ拂下ケ止ムヲ得サ
レハ無償交付スルモノトス

飼料、蹄鉄、蹄釘、軍鳩附屬資材等ヲ適宜附スル
コトヲ得

前二項ノ處理ハ憲兵隊長司令官同地區憲兵隊長臨時
憲兵隊長之ヲ行フコトヲ得狀況ニ依リ之カ處理ヲ憲兵
分隊長ニ委ヌルコトヲ得

第三十五條 各部隊ニ服務シアル現役衛生部將校及下士官ハ
則第七條第六號ニ據リ最寄陸軍病院ト豫メ協議
シ上該病院ニ之ヲ轉屬セシムルモノトス

0941

第三十六條 復員部隊ノ衛生材料ハ送状ニ附シ最寄陸軍省

院(復員ト同時ニ軍事保護員ノ管理下ニ入リタルモノヲ含ム)

ニ保管轉換スルモノトス

第三十七條 復員部隊ノ輸送ハ憲兵隊長司令官之ヲ擔任シ其ノ業

務ノ一部ヲ憲兵隊長ニ委ヌルコトヲ得 但シ臨時憲兵

隊以外ノ憲兵ノ輸送ハ一〇〇人以上ニ亘ル場合ハ日時ヲ異

ニシ區分シ個人ヲ以テ乗車セシムルモノトス輸送状況ノ概

況ヲ最寄輸送關係機關ニ通報スルモノトス

部隊ヲ以テスル場合ハ輸送請求ヲ速ニ提出個人ヲ以テスル

場合ハ公務運賃割引證右上部ニ朱書ヲ以テ復ト

記入スルモノトス

運賃ハ總テ陸軍省ヨリ^{割引證}格運輸省ニ支拂ヲ為スモノト

シ各人ハ最終到着駅ニ於テ^{割引證}當該駅長ニ提出スルモノトス

割引證不足スル場合ハ憲兵分隊長以上部隊長ニ於テ

責任ヲ以テ調製発行スルモノトス

第三十八條 戦時名簿、功績名簿、考料表等ハ死役者ヲ未留

守業務處理ヲ終了セサル者ヲ除キ焼却スルモノトス

但シ生存者殊勲功績ヲ有スル者ニテ申達未済モノ

ハ速キ申達スルモノトス

第三十九條 復員ニ伴フ諸報告ハ本規定並ニ規定セルモノ外左

ノ各號以外ハ之ヲ要セサルモノトス

一 復員部隊、復員完結豫定日

二 復員、召集解除、除隊人員、階級別概数(但シ將校ハ官氏名)

三 其ノ都度残置人員、階級別人員

第四十條 復員、召集解除、除隊ニ際シテハ適宜ノ様式ヲ以テ

從軍證明書ヲ各人ニ交付スルモノトス

第四十一條 復員、召集解除、除隊ニ際シテハ各部隊ニ於テ極

力爾後ノ就職斡旋、身上ノ保護ニ努ムルモノトス

將校

兵力
編成
所定
規程

第四十二條 前條ノ外狀況ノ許ス限リ所要ノ携行品検査ヲ

實施シ遺憾ナキヲ期スルモノトス

第四十三條 復員時武裝解除時ニ於テ各部隊ノ概況ヲ和文

英文ニ於テ調製シ置クモノトス

第四十四條 機密費ハ部隊長ニ於テ検査ヲ嚴重ニシ殘金ハ証

明書ト共ニ適宜返納スルモノトス止ムヲ得サル場合ハ職

業輔導等社會事業等團體ニ寄附シ其ノ狀況ヲ報

告スルモノトス

第四十五條 憲兵司令部ノ復員ニ関シテハ別ニ規定ス

第四十六條 本規定ノ進達竝ニ配布區分尤ノ如シ

一 進達 陸軍省 參謀本部

二 配布 憲兵司令部内各部課 各一

憲兵隊司令部 各五

地區憲兵隊 各一

臨時憲兵隊

各一

臨時獨立憲兵中隊

各一

第一第二總軍

各一

各軍管區司令部

各一

第四十七條、臨時憲兵隊、復員ハ憲兵部隊ニ於テ行フヲ本

則トス復員後其ノ人員ヲ原所屬部隊(原所屬部

隊既ニ復員セル場合ニ在リテハ所在地軍管區司令官

ノ定ムル部隊ニ轉屬シタル後軍管區司令官ニ於テ適

宜處理スルモノトス

復員部隊ノ輸送ハ憲兵隊司令官ニ於テ軍管區司令

官輸送關係機關ト協議シ之ヲ定ムルモノトス

第四十八條、憲兵及臨時憲兵ニテ軍需品等ノ監視ノ為殘置

ヲ命ジタル人員ハ軍需品ヲ引継ト共ニ關係軍司令官

ノ定ムル部隊ニ轉屬スルモノトス

准ニ官ニ於テハ

及他ノ

經理ノ直轄

隊司令官

第一隊印 附 則
燒却スルモノトス
始末ハ上級隊長(司令官)ノ承認ヲ經タル後

0946